

「世界でいちばんやかましい音」（東京書籍5上）の指導について

東広島市立西条小学校 横田優美

（1）教材について

「世界でいちばんやかましい音」という題名を読んだときに、いったいどんな音だろうと思う。そして、読み進めていったときに、登場人物たちも「一度聞いてみたい。」と思っていたことにおもしろさを感じ、その音をみんなが聞こうと思ったためにとても静かになってしまう。それによって今まで聞いたことのない、静かではないと聞こえない音が初めて聞こえる。そして、その音を気に入ってしまう。今まですばらしいと思っていた物にはない、新しい物へのすばらしさに気がつく。今までの見方や考え方に変化が生まれる。中心人物の見方や考え方変容してしまう物語だと考える。

児童は、この物語を読み、がやがやとやかましい音がよいと思っていた王子様が静かになったことで静かさのよさに気づくところに共感し、特に結末部分におもしろさを感じると考えた。児童たちもやかましくすることがあり、共通点を感じるであろう。しかし、静かにすることによってでしか、気付けないこともあるのだという見方や考え方を発見していくと考えられる。

この物語では、物語の構成（構造）をとらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取りやすい教材だと考える。物語を読むための時、場面、中心人物、人物像、中心人物の変容などの基本的な物語の設定もつかみやすい。そのような物語を読むための技能を活用することによって、今までの見方や考え方にこだわらず、新しい見方や考え方を受け入れていくことのすばらしさを児童一人一人なりに読みとっていくと考える。

（2）学習目標について

① 価値目標

国語科「読むこと オ」では、「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」が指導事項になっている。そこで、第5学年の道徳2－（2）思いやりと関連づけて「今までの自分の見方や考え方に加えて新しい見方や考え方をもちことのすばらしさを感じる心情を育てる」を価値目標として位置づける。

② 技能目標

（ア） 関連する学習指導要領の目標

指導事項の中心は、読むこと（1）エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」である。

（イ） 教材に即して学習指導要領の目標を改変した目標

これらの指導事項を受け、本単元では、「物語の構成をとらえ、場面の展開に即して人物の相互関係や心情の変化を読み取り、自分の考えをもつこと」を中心に指導する。

（ウ） α の技能目標

これらに加え「物語の構成や人物の変容を手がかりに物語の主題をつかむこと」も技能目標とする。

③ 態度目標

生活の様々な場面の中で、今までの自分の見方や考え方がすべてと考えず、自分以外の見方や考え方も受け入れていくことや新しい見方や考え方がないかを考えてみる。

(3) 言語活動と活動目標

「おすすめ本コーナーをつくろう」という活動目標を設定し、本を読んで推薦の文章を書く言語活動を設定する。

教材文で学習したことを生かして、ポスター（3学年既習）本の帯（4学年既習）、リーフレット（4学年既習）ポップ（5学年で学習）などの表現方法で、物語の設定、あらすじ、構成、おもしろさなどを書いて紹介し、推薦していく。それによって、物語を読むための技能や自分の読みから考えをもつことが習得できると考えた。

(4) 方法と評価

活動目標=単元名（おすすめ本コーナーをつくろう）

	言語活動	学習目標	評価方法
導入	○本や映画によって、見方や考えが変わった経験を聞く。	(態度目標形成) ○見方や考え方が変わることのすばらしさについて考えようとする。	○ノート、発表
展開	○「おすすめ本コーナーをつくる」ことを知る ○「世界でいちばんやかましい音」を読みとる。	(技能目標形成) ○ポスター（3学年既習）本の帯（4学年既習）、リーフレット（4学年既習）ポップ（5学年で学習）などの表現方法の仕方を理解できる。 ○物語の基本設定を読むことができる。 ○物語の構成を読むことができる。 ○王子様や町の変化やその理由を叙述をもとに話し合うことができる。	○ノート ○ノート、発表 ○ノート、発表 ○発表
終結	○「おすすめ本コーナーをつくろう」で本を推薦する文章を書く。	(価値目標形成) ○選択した表現方法でおもしろさをつたえる推薦の文章を書くことができる。 ○学習後の感想に物語に対する自分の考えや学んだことを書くことができる。	○表現した物 ポスター、本の帯、リーフレット、ポップ。 ○ノート